

たゆみなく・すこやかに・たくましく



学校だより 1月号



青森県立黒石養護学校 令和8年1月30日発行 教頭 本田 知也

新年明けましておめでとうございます。

保護者の皆様、地域の皆様には、穏やかな新年をお迎えのことと存じます。本年もどうぞよろしくお願いたします。今年は「丙午（ひのえうま）」の年です。勢いがあり、前向きに進んでいく力をもつ年とも言われています。本校のこどもたちが、それぞれのペースで自分らしさを大切にしながら、一歩ずつ成長していける一年になればと願っております。

昨年末から空を見上げると、雪、雪、そして雪の日々が続いています。年末・年始から今日まで、雪かきに追われる日々をお過ごしの方も多いことと思います。そのような中でも、本校では小学部で雪遊び、中・高等部では、これからスキー学習が本格的に始まります。黒石の雪を、こどもたちとともに思う存分楽しみたいと思います。

さて、1月30日からは「あおもり国スポ冬季大会」が始まります。八戸市・三沢市ではスケートとアイスホッケー、大鰐町ではスキー競技が行われます。機会がありましたら、ぜひ現地で競技を観戦してみたいでしょうか。さらに、10月には「あおもり国スポ・障スポ大会」が開催されます。本校でも大会を盛り上げるため、少しでも協力ができればと考え、「のぼり旗制作」「メッセージカードの作成」「記念品（コースター）制作」「クリーンアップ活動」を実施する予定です。記念品（コースター）は、現在、高等部の作業班で200個の制作を進めています。大会期間中には、青い森アリーナで行われる陸上競技を観戦する予定です。

また、障スポ開会式では、小学部の児童が他校の児童とともに「青の煌めきダンス」を披露することが決まりました。8月から約3回の合同練習を重ね、本番に臨む予定です。全国から集まる選手たちの前で、これまでの練習の成果を存分に発揮し、堂々とダンスを披露してほしいと願っています。

進路先実現に向けて



昨年12月から、高等部3年生の生徒と就労に向けた面接練習を行う機会がありました。面接は、就労の可否が決まる最終関門です。生徒たちは、1年生の頃から作業学習や校内実習を通して働く力を高め、現場実習では実際に働く姿を担当者に見てもらいながら、長い年月をかけてここまで歩んできました。そのことを理解している生徒たちは、緊張した面持ちで真剣に面接練習に取り組んでいました。話すことが得意でない生徒も、想定される質問に対して自分で返答を考え、自分の言葉で話せるよう努力していました。面接を含めた就労に向けての取り組みは、もしかするとこれまでの人生で最も高い壁だったかもしれません。その壁を乗り越えようと続けてきた努力や経験は、きっと自分自身の成長につながる大きな財産になったと思います。

まもなく卒業を迎えます。残りの期間、学級の仲間や学部・学校の仲間と一日一日を大切にしながら、充実した日々を過ごせるよう支援していきたいと思っております。